

どんな人が HIV 検査を受けるべきですか？- HIV 検査、パート 2

13～64 歳の方は、誰でも一度は HIV 検査を受けることが推奨されています。また、HIV 感染リスクが高まった人も検査を受けるべきです。



リスクには次が含まれます。

- HIV 陽性の、または HIV 感染状態が不明な人物とコンドームを使用せずに性交渉を持った
- ドラッグを注射した、または他者と注射針、かん腸器、その他のドラッグ用の道具を共有した
- 金銭、ドラッグのために性行為を行った
- STD に感染した、または性感染症を患いました。STD には梅毒、淋病、クラミジアなど 20 種類以上の感染症があります。
- 肝炎または結核 (TB) を患った
- ここに記載される HIV 感染要因のいずれかに該当する人物と性交渉を持った



妊娠した女性は誰でも、妊娠後できるだけ早期に HIV 検査を受ける必要があります。過去に検査を受けたことがあっても、再度検査を受けてください。

性的暴行を受けた人は、できるだけ早急に HIV 検査を受ける必要があります。

新しいパートナーと初めて性交渉を持つ前に、お互いの性交渉歴およびドラッグの使用歴を包み隠さず話し合ってください。また、HIV 感染状態についても話し合い、必要であれば性交渉の前に HIV 検査を受けてください。HIV 検査の結果が陰性だった人の中には、パートナーも陰性だと決めつける人もいます。しかし、HIV 検査結果はあくまでもあなた自身の結果であり、パートナーの結果ではありません。

ご自身の HIV 感染リスクまたは HIV 検査については、担当の医療機関に相談してください。

HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。

